

HDD等の廃棄時には重要データを 確実に消去しましょう!

パソコンなどに保存したデータは、ゴミ箱に移したり、フォーマットしただけでは完全に消去できず、データ復旧用のソフトを使うことで簡単に復元できます。機密情報などは以下の方法で確実に消去しましょう。

主なデータの消去方法

- ① 上書（無意味なデータで上書きする）
消去したいデータや記憶装置全体に無意味なデータを複数回上書きすることでデータの復旧を困難にする方法
- ② 消磁（電気的もしくは磁氣的に破壊する）
専用の装置を用いて、電気的・磁氣的に記憶領域を破壊する方法
- ③ 破壊（物理的に破壊する）
記憶装置を物理的に破壊する方法



HDD（ハードディスク）のデータ消去方法

社団法人 電子情報技術産業協会（JEITA）が発行する「パソコンの廃棄・譲渡時におけるハードディスク上のデータ消去に関する留意事項」では、パソコンなどの状況に応じたデータの削除方法として、以下のようなデータの削除方法が例示されています。

パソコンとHDDの状況	データ消去方法例
パソコンとHDDが稼働する場合	<ul style="list-style-type: none">・専用ソフトにてデータ消去・専用装置にてデータ消去・HDDを物理的に破壊
パソコン本体は稼働しないが、HDDは稼働する場合	<ul style="list-style-type: none">・他の稼働可能なパソコンにHDDを接続して専用ソフトにてデータ消去・専用装置にてデータ消去・HDDを物理的に破壊
HDDが稼働しない場合	<ul style="list-style-type: none">・HDDを物理的に破壊

SSD（USBメモリ、SDカードなどを含む）のデータ消去方法

SSDはデータ書込回数に上限がある特性上、書込回数を平準化する仕組み（ウェアレベリング機能）があるため、ソフトウェアによる上書きでは対象のデータに上書きできず、対象データが残存してしまいます。最近では、ソフトウェアでデータを上書きするのではなく、ディスク内部でデータの消去処理を行うセキュア消去（Secure Erase）機能を持ったものが登場していますが、それでもデータが残存してしまうことがあります。

そのため、機密情報が含まれているSSDからデータを消去する場合は、物理的に破壊することが最も有効となります。